

令和6年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	谷田第3自転車駐車場					
所在地	生駒市谷田町381番地1					
指定管理者名	株式会社アーキエムズ	指定期間	開始日	令和	6年	10月1日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和	17年	3月31日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 11年のうち 1年目			
設置目的	道路の効用保持や道路交通の円滑化を図り、自転車等利用者の利便に資する。					
主な実施事業等	施設の適正な運営に関する業務、施設の利用の拒否に関する業務、利用料金の徴収に関する業務、利用料金の減免・還付に関する業務、施設の維持管理に関する業務 等					

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
谷田第3自転車駐車場	円	623,150	495,200	-	令和7年1月7日開業

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	623,150	495,200	0
	指定管理料			
	利用料金収入	C 623,150	495,200	
	自主事業収入			
	その他			
支出計	B	1,132,698	616,370	0
	指定事業費	1,132,698	616,370	
	うち人件費	D 290,400	184,800	
	うち再委託料	E		
	自主事業費			
事業収支	A-B	-509,548	-121,170	0
利用料金比率	C/A	100%	100%	
人件費比率	D/B	25.6%	30.0%	
再委託費比率	E/B			
補足説明（必要に応じて記入）				
谷田第3自転車駐車場の開業日（令和7年1月7日）から令和7年3月31日までの事業収支				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無		無	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等	

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
本施設は、事業計画に基づいた管理運営を行い、利用者の行動変容を促し、公共交通・自転車利用を促進し、設置目的の達成と施設の有効活用を図っております。	
市の評価	
本市営自転車駐車場としては駐輪機器・精算機が設置された初めての管理で、さらに現金・キャッシュレス決済の導入等により利用者にとって利便性の高い運営が図れています。	
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
本施設は、すべての市民が公平に利用できるよう配慮した管理運営を行い、利用者の決定においても公正な手続きを徹底することで、特定の利用者への偏りや不利益を防ぎ、市民の平等な利用を確保しております。	
市の評価	
24時間営業のため、いつでも駐輪できる施設として利用者へサービス提供できています。土地の制約上、駐輪台数は82台までとなっていますが、今後、利用状況に応じて駐輪台数の増加もご検討くださると幸いです。	
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
苦情等には速やかに対応し、利用者の不安を早期に解消するよう努めております。	
市の評価	
利用者は、駐輪場から同社のコールセンター（24時間365日営業）に問い合わせることができます。本年度の問い合わせは3件で、すべて迅速に対応くださっています。	
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
本施設は、機械化によって人件費の削減を図っております。	
市の評価	
駐輪場の機械化により収入に占める人件費の割合が約30%で、従来の有人管理よりも大幅に経費を削減できていることが分かります。ひきつづき、経費節減に向けた取組を期待します。	
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
支払方法に現金だけでなくQRコード決済や交通系IC決済を導入し、利便性の向上を図ることで収益の増加につなげております。	
市の評価	
24時間営業やキャッシュレス決済の導入により、利用者にとって利便性が高い施設運営により、収入増加に繋がったものと考えられます。開業間もなくですが、平日の稼働率はたいへん高く、評価に値するものです。	
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
完全機械化を実現し、人員配置は巡回業務のみに限定しております。	
市の評価	
従来の有人管理から大幅に舵を切った管理体制となりましたが、開業時にトラブルなく、利用者からの問い合わせ等も殆どなかったことから、適正な管理が実施できているものと判断されます。	
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
今後の取り組みの予定としてはシェアサイクルの設置を予定しております。	
市の評価	
本年度は谷田第3自転車駐車場の開業に向けた取組が主となり、自主事業の実施はありませんでした。	
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	
事故発生時には、提携するサテライト拠点または生駒駅前自転車駐車場から、スタッフが速やかに現場へ駆けつける体制を構築しております。	
市の評価	
24時間365日対応のコールセンターや、駐輪場スタッフ・提携警備会社等による対応ができる体制により、トラブルなく運営できているものと判断されます。	

サービスの安定的な提供（安定性）	
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）
	指定管理者による自己評価
	生駒市では長年、自転車駐輪場の料金を据え置いてまいりましたが、利用者利便性の向上を目的に機械化を推進していることから、2026年春を目途に料金改定を実施し、安定的な事業運営の継続を目指しております。
	市の評価
	機械化による先行投資により本年度の事業収支はマイナスとなりましたが、今後、適正価格への転嫁や投資回収により、安定的な事業運営になっていくことを期待しています。

6 指定管理者の財務の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産	8,681,156,104	9,035,634,519	
流動資産	5,878,922,767	6,093,345,093	
固定資産	2,802,233,337	2,942,289,426	
負債	8,321,377,786	8,671,304,122	
流動負債	5,996,183,406	6,407,541,792	
固定負債	2,325,194,380	2,263,762,330	
純資産	359,778,318	364,330,397	
資本金	72,500,000	72,500,000	
売上高	5,772,362,760	5,680,883,150	
経常利益	124,008,946	12,184,557	

※10月決算のため未計上

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自己資本比率 純資産/資産×100	4.1%	4.0%	
負債比率 (流動負債＋固定負債)/純資産×100	2312.9%	2380.1%	
固定比率 固定資産/純資産×100	778.9%	807.6%	
流動比率 流動資産/流動負債×100	98.0%	95.1%	
固定長期適合率 固定資産/(純資産＋固定負債)×100	104.4%	112.0%	
総資産回転率 売上高/資産×100	66.5%	62.9%	
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	1.4%	0.1%	

※10月決算のため未計上

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
今後の業務改善に向けた方針として、現在、周辺の自転車駐車場の機械化を進め、利用者のニーズに即した利便性向上を目的とした取り組みを実施しております。
市の評価
生駒駅周辺の駐輪場不足の課題を受け、新指定管理者として、谷田第3自転車駐車場の新設に迅速にご対応くださいました。次年度より自転車駐車場7施設の管理となり、計画的に機械化等を実施されていく予定ですが、利用者への影響の少ない、ソフトランディングな移行を期待しています。